



# 佐世保市立黒髪小学校

所在地 佐世保市黒髪町52-1  
校長 木村 純一  
児童数 480名  
学級数 18学級



## 【教育目標】

将来かなえたい夢や希望を語り、その実現のために意欲的に学んだり、努力したり  
(大志) (自己実現)  
できる、優しさとたくましさを備えた黒髪っ子の育成をめざす。  
(自立・自律) (教育)

ひと

ふるさと

社会

体験活動により、人とつながり、触れ合う。	地域の自然や施設、歴史や文化などについて感心を持つ。	福祉・平和など、社会事象について体験的に学ぶ。
<ul style="list-style-type: none"><li>・栽培活動</li><li>・体験活動</li><li>・家族や地域とのつながり</li><li>・人への関心</li><li>・相手の思いや願い</li><li>・コミュニケーション能力</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の自然</li><li>・地域の施設</li><li>・地域の歴史、文化</li><li>・ふるさとへの愛着</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者との交流</li><li>・障がいの擬似体験</li><li>・自分にできる社会貢献</li><li>・戦争の悲惨さ</li><li>・平和の大切さ</li></ul>

## (1) 各学年の具体的な取組内容

### 【第1・2学年】「野菜を育てよう」「お年寄りとの交流」

#### 【ねらい】

- ・野菜を育てることで、命を大切にする心を育てる。
- ・地域のお年寄りに昔遊びを教えていただくことで伝統的な遊びに親しむとともに、地域の方との交流を深める。

#### 【活動の概要】

- ・さつまいもの苗を畑に植え、当番で水やりなどをしながら大切に育ててきた。育ったさつまいもは、自分たちで収穫し、ふかしいもにして食べた。
- ・地域の老人会に来校していただき、こま回し、竹馬遊び、めんこ等、遊び方のコツを教えていただきながら2時間の活動を行った。

#### 【成果と課題】

- ・自分たちで世話をした作物を食べることで収穫の喜びを感じ、食べ物への感謝の気持ちをもつことができた。畑の整備や芋の調理など、多くの人々に支えられていることに気づくことができた。
- ・昔遊びを通して、地域のお年寄りとの交流を深めることができた。1年生のお世話をしながら活動することで、中学年に向けての心構えをもつことができた。



### 【第3学年】「地域を知ろう～黒髪のじまん～」 「感謝の気持ちを表そう」

#### 【ねらい】

- ・黒髪町付近の地域のじまんや九十九島の自然や生き物について調べる。
- ・自分の成長を確かめたり、感謝の気持ちを伝えたりする。(パンジーを育てる活動も含む)

#### 【活動の概要】

- ・黒髪地区には、どんなじまんがあるのか、実際に黒髪の町を歩いたり、地域の人に話を聞いたりして、自分をもっと調べたいと思ったことを課題に設定し調べる活動を展開した。
- ・お世話になったたくさんの方々に感謝の気持ちを伝えるために、ビオラやパンジーの栽培を行った。

#### 【成果と課題】

- ・自分たちが住んでいる黒髪町には他の町にはない、素晴らしい産業や施設・伝統文化があることに気づき、地域を愛する気持ちが芽生えた。さらに、調べたことをクイズや劇、紙芝居など発表方法を工夫することで、表現力を高めることができた。
- ・ビオラやパンジーの栽培については、種から育てることで、感謝の気持ちをより一層高めることができた。



### 【第4学年】「平和について考えよう」「10才記念の式」

#### 【ねらい】

- ・原爆について知り、戦争の悲惨さから長崎・佐世保の平和について考える。
- ・「人権・平和」について学ぶ中で、「しあわせ、自由・平等、権利」について学び、周りの人への感謝の気持ちを持ちながら、自立を目指し、将来の夢に向かって努力する態度を育てる。



### 【活動の概要】

- ・ 6月に長崎の平和公園・爆心地公園・原爆資料館の見学、平和集会で全校に発表。
- ・ 「10歳記念の式」では、一人ひとりが「しあわせ、自由・平等、権利について学んだことや、周りの人への感謝、将来の夢に向かって努力する考えを表現できた。
- ・ よびかけや歌で成長や感謝の気持ちを表現した。

### 【成果と課題】

- ・ 平和案内人の方の貴重な話を聞いたり、「人権・平和」について学んだりする活動を通して、「しあわせ、自由・平等、権利」について学びを深めることができた。
- ・ 将来の夢に向かって努力する考えを表現することで、将来の夢に向かって努力する態度を高められた。

## 【第5学年】「食について考えよう」

### 【ねらい】

- ・ 旬の野菜について知り、土づくりや畝立て、ポットへの種まきや苗作りなど体験活動を行い、収穫した野菜を家庭科での味噌汁作りに使ったり、プレゼンテーションソフトを活用して発表会を行ったりして活動の達成感を味わわせ、食を愛する心情を育てる。



### 【活動の概要】

- ・ 畑に肥料を混ぜて耕し、畝を立てた。ポットに種を蒔いて苗を作り、畑に植えかえた。当番制で水やりや雑草取りをして、観察させながら育てた。また、できた野菜を収穫し、家庭科での味噌汁づくりで活用した。学習のまとめとしてプレゼンテーションソフトでまとめ、発表会を実施した。

### 【成果と課題】

- ・ 実際に種から野菜を育てるという体験活動を行ったことで、食べ物を育てる大変さを実感させることができた。また、食べ物を大切に食べようという意識や地産地消への関心も高まった。

## 【第6学年】「お年寄りが生き生きと暮らせる社会に」

### 【ねらい】

- ・ お年寄りとのコミュニケーション力を身につけるとともに、相手を思いやって行動する態度を養う。

### 【活動の概要】

- ・ シニア体験セットによるお年寄りの生活を疑似体験したり、校区内にある特別養護老人ホーム「チューリップ」の生活相談員に、施設の概要や、そこで働く人の思い、お年寄りの生活の様子や接し方、認知症に対する知識についてお話いただいたりした。また、実際に「チューリップ」の訪問活動を、各学級2回計6回実施した。
- ・ ふれあい後、「お年寄りが生き生きと暮らせる社会にするために、自分たちができることはないだろうか」というテーマで、ポスターセッションを行った。



### 【成果と課題】

- ・ お年寄りとの交流を通して、相手の立場を思いやって行動できるコミュニケーション能力を高めることができた。
- ・ 認知症についての学習会を加えたことで、認知症に対する知識をつけることができた。

## (2) 学力向上の取組

本年度は「意欲をもち、生き生きと活動する黒髪っ子の育成をめざして」を主題に掲げ、2020年度から完全実施となる「外国語活動（中学年）」「外国語科（高学年）」を見据え、授業研究の中心に外国語活動を設定した。副主題を「児童の意欲を高める授業づくりと外国語活動・外国語科の研究」として、意欲向上に向けた授業づくりに取り組んできた。

また、昨年度に引き続き、「生き生きと活動する黒髪っ子」を具体化した姿をアンケート項目として、6月と12月に全児童を対象に調査を行った。

### ① アンケート調査の考察

学校全体として大きく伸びた項目は、「1. いつも近所の人にあいさつをしている」、「6. 友達のいいところを進んでたくさん伝えられた」、「8. 友達が落ちこんでいるとき、気持ちを思いやって声をかけている」だった。項目6が伸びている割には「5. 自分のいいところをいくつか言えるか（自己肯定感）」があまり伸びていないことから、友達の良さを伝える場を設けるだけでなく、自己肯定感を高める手立てがさらに必要であると考えられる。また、授業づくりの柱としていた外国語の学習については、項目9の「とても好き」が5.8%伸びており、「わりと好き」と感じている児童も含めると学校全体の85%を占めていることから、意欲的である児童が多いことが分かる。しかし、「あまり好きではない」と答えた児童が2.1%（6人）増えていることにも目を向けると、つまづきへの手立てについても今後考えていく必要があると分かる。

### ② 成果と課題

今年度は外国語が専科だったこともあり、担任が外国語の授業を行うことに難しさを感じることもあった。外国語の共通実践として決定した「外国語スタンダード」を取り入れた実践まではできなかったが、職員全員が外国語の授業について、導入や展開の仕方、終末の工夫について考え、研究することができた。今後の外国語学習における研究課題としては、次の2点が挙げられる。



- ・ 発音や異文化理解などについての指導力（英語力）向上
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業改善および評価の研究

これらの課題を解決するために、職員間での共通理解を深めつつ、児童の意欲向上に向けて、共通実践をさらに改善・継続していく必要がある。